

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院危機管理室では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、病院移転の際に得られたデータを活用してまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身や家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる2019年5月1日、旧虎の門病院から新虎の門病院に搬送された方

【研究課題名】

災害への備え 一病院移転に伴う患者移送に要した時間等からの考察一

【研究の目的・背景】

《目的》 病院移転時に測定した移送に要した時間等から、災害時に安全を確保しつつ、効率よく搬送できる体制を考察し、災害時の体制作りを検討します。

《研究に至る背景》

病院建築、病院移転は頻繁にあるものではありませんが、建物の老朽化に伴い、一定の割合で行われています。各施設、患者さんの安全を第一にスムーズに移転できるように準備し、また診療体制の制限を最小限にした状態で移転できるよう努めております。今回、当院でも患者さんの安全と安心を考慮した移送のシミュレーションを繰り返し実施し、移転当日に臨みました。移転当日は、スムーズに進行していることを確認するために、時間などを測定し、記録を取りました。このような大規模な移送は、移転時や災害時を除き、ほとんど経験することがないことが現状です。これまでにも多数の施設が移転をしておりますが、大人数の患者さんの搬送に要した時間等を測定して考察した研究はほとんど見当たりませんでした。この時間等を計測したデータは、年々災害が増えている我が国での災害時の搬送などの体制を検討するうえで、貴重なデータとなると考えます。本研究は、虎の門病院移転時に測定したデータ等から考察し、災害時に安全を確保しつつ、効率よく患者移送などができる体制作りについての検討を行い、課題などを明らかにします。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2019年12月27日 ～ 2021年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院 単独研究

【個人情報取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院危機管理室島完のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：診断名、年齢、性別、救護区分、人工呼吸器・点滴・酸素・モニターなどの装着の有無、移送時の有害事象、搬送所要時間

【虎の門病院における研究責任者】

危機管理室 室長 島 完

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身や家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身や家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2020年3月31日までに下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 危機管理室 管理看護師長 山本 和枝
電話 03-3588-1111(代表)